

都市計畫ニ就テ

(第五卷第五號所載)

著者 會員 工學士 山 田 博 愛

大正八年十月土木學會誌第五卷第五號ニ於テ都市計畫ニ關スル私見ノ一端ヲ披瀝シタルニ對シ會誌第六卷第一號ニ於テ我カ畏敬スル坂岡博士ヨリ明快ナル批判ヲ蒙リ且ツ懇篤ナル注意ヲ辱フシタルハ著者ノ深ク光榮トシ感謝ニ堪サル所ナリトス又會誌第六卷第二號ニ於テ宮本學士ヨリ同第三號ニ於テ坂田學士ヨリ何レモ其該博ナル識見ノ一部ヲ發表セラレタルハ都市計畫事業遂行上多大ノ效果アルモノトシテ之亦深ク謝意ヲ表スルモノナリ茲ニ右三君ノ意見及質問ニ對シ左ノ通り答ヘントス

一 都市計畫ノ意義ニ於テ都市ノ交通、衛生、保安、經濟等ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ又ハ福利ヲ增進スル施設以外都市ヲ美化スルノ一事ヲ重要施設トシテ加フルノ坂岡博士ノ主張ハ著者ノ直チニ採ツテ以テ同意スルコトヲ得サル所ナリトス即チ都市ニ於テハ實際的活動ノ必要ナルコト勿論ナルト同時ニ感情ヲ醇化シ精神ヲ高尚ナラシムル爲メニ利害ノ打算ヲ離レテ出來得ル限り美化スルコト之レ人間自然ノ要求ニシテ又之レニ依リ一般市民ノ靈ノ向上ニ資スヘキコトハ忘ルヘカラサル重要事ナリト雖モ之レカ爲メ反テ錯誤ヲ生シ冗費ヲ招キタルコトハ歐米諸都市ニ於テ其實例乏シカラス而カモ都市計畫ニ關スル事業ニシテ街路ニアレ橋梁ニアレ軌道鐵道運河港灣ニアレ將タ又一般公共的施設ニアレ其美ヲ度外視シテ果シテ之レカ計畫ヲナシ之レカ實行ヲ期シ得ルヤ若シ可能ナリトスルモ斯ル計畫ハ何等ノ價値ナキモノトシテ唾棄スヘキモノニ非ラサルカ歐米ニ於ケル斯道ノ大家中ニモ都市計畫ノ事業ハ凡テ美觀ヲ主眼

トシ之レカ施設ヲナスヘキコトヲ論スルモノナキニアラサリシモ之ヲ要スルニ都市計畫ナルモノハ市民ニ安全ナル幸福ナル且ツ有效ナル生活ヲ與フルカ終極ノ目的ナルヲ以テ今ハ夫レ等ノ主張ハ謬見トシテ一般ニ顧ラレサルニアラスヤ敢テ博士ノ一考ヲ求メムト欲ス

二 公園及遊園ニ對スル博士ノ意見ハ要スルニ見解ノ差違ノミ家屋ノ構造及生活上、習慣上ノ相違、氣候ノ關係等ヲ考慮スヘキハ勿論ナレトモ一面都市ノ發展ト市民生活上ノ進歩ヲ考フルトキハ必スシモ外國都市ノ夫レニ比シ著シク公園面積ヲ寡少ナラシムヘキ理由ヲ發見シ得サルナリ著者カ公園面積ヲ市面積ノ約五ばあせんと位トセシハ世界著名都市ノ公園面積ノ市面積ニ對スル割合ノ平均數ヲ標準トシ大體ノ割合ヲ表示セルモノニシテ實際ニハ各都市ノ實狀ニ應シ適當ニ其系統ヲ計畫スヘク之レカ面積モ亦附近ノ狀況ニヨリ便宜之ヲ定ムヘキモノナリト思考スルナリ

三 宮本學士ノ街路ニ對スル御高見中格子形街路系統ノ中ニ對角線狀街路ノ挿入ニヨリ生シタル不規則ナル地面ヲシテ小規模ノ遊園ノ態ヲ備ヘシメントスルハ著者ノ大ニ賛成スル所ニシテ外國都市ノ實例亦之レヲ出テス要ハ斯ル街路系統ノ都市ニ於テハ對角線狀街路ヲ都市ノ商業中心地點マテ突入セシメス之ヲ去ル數ぶろくノ點ニ於テ留ムヘク又出來得ル限り之ニヨリテ不規則ナルぶろくヲ造ラシメサランコトヲ注意スルニ在リ

四 江東方面ニ於ケル堅川、小名木川等ノ運河ノ水面上橋桁下端迄ノ高サ低キニ失スルノミナラス橋梁ノ徑間小ニシテ舟運ヲ妨ケツ、アルハ誠ニ遺憾トスル所ニシテ著者ハ學士ト全ク感ヲ同シウスルモノナリ依テ通船ノ大サ及荷積ノ高サヲ參酌シ近ク都市計畫委員會ノ議ヲ經テ大體左ノ通り標準(甚タ不満足ナレトモ土地ノ狀況上止ムヲ得ス)ヲ定メントス

(イ) 水面上ノ高

零點上十四尺以上

(ロ) 有効徑間

二十七尺以上

五 東京市内路面電車ノ混雜ハ高速鐵道網ヲ敷設スルニアラスンハ到底之レカ救濟ハ期シ得ヘクモアラス國有鐵道計畫

線以外大正八年六月東京市區改正委員會ニ於テ決定セル該線路網ヲ參考ノ爲メ左ニ掲ク

第一 品川八ツ山ヨリ新橋、築地、兩國橋西側、雷門ヲ經テ押上ニ至ル線路(約八哩八一)

第二 澁谷ヨリ霞町、新橋、萬世橋、上野、雷門ヲ經テ南千住ニ至ル線路(約一〇哩六五)

第三 内藤新宿ヨリ四谷見附、櫻田門、萬世橋ヲ經テ巢鴨ニ至ル線路(約九哩一八)

第四 池袋ヨリ山手線鐵道線路ニ沿ヒ高田馬場驛前ニ出テ飯田橋、大手町ヲ經テ越中島線ニ至ル線路(約一〇哩六五)

第五 目黒ヨリ新橋ニ至ル線路(約三哩九八)

第六 原宿ヨリ青山一丁目、赤坂見附ヲ經テ櫻田門ニ至ル線路(約三哩五三)

第七 大塚ヨリ傳通院前ヲ經テ萬世橋際ニ至ル線路(約三哩五五)

尙本案ニ關シ左ノ希望條件ヲ附セリ

一 四谷見附ヨリ赤坂見附ヲ經テ新橋ニ至ル間ニ高速度線路ヲ鐵道院ニ於テ計畫セラル、様其ノ筋へ建議スルコト

二 (イ)本所區押上ヨリ深川區洲崎ニ至ル間及(ロ)芝區三田四國町附近ヨリ麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷ノ數區ヲ貫キ上野鐵道停車場附近ニ至ル間ニハ交通狀態ニ應シ相當調査ヲ遂クルノ必要アリト認メラル、ニヨリ更ニ調査スルコト

六 坂田學士ノ質問ニ係ル土地收用ノ件ハ都市計畫法第十六條第二項ニ於テ道路、廣場、河川、港灣、公園等ノ都市計畫事業ニ要スル土地附近ノ土地ニシテ都市計畫事業トシテ建築敷地造成ニ必要ナルモノハ勅令ノ定ムル所ニヨリ地帯收用ヲナスラ得ルコトヲ規定シタルモノニシテ施行令(勅令 第二十二條ハ土地區劃整理ヲ施行スル必要アル場合ナルニアラスンハ地帯收用ヲ行フヲ得スト制限セルモノナリ即チ換言スレハ必要アラハ附近ノ土地ヲ收用シ同時ニ土地區劃整理ヲ施シテ以テ建築敷地ヲ造成スルコトヲ得ト云フ意味ナリ

七 施行令第九條ノ意味ハ要スルニ公共團體ニ對シ負擔ノ公平ヲ期スルト同時ニ個人ニ對シベねふロツと、あつせすめんトヲナサントスルモノニシテ同條第四號ノ規定ニ依ル指定ハ本年九月六日內務省令第二十八號ヲ以テ公示セラレタリ就テ御一覽ヲ乞フ

財源ノ關係ニ於テ六大都市ニ於ケル不動産ノ價格、土地ノ價格等ノ調査ハ最モ緊要ノ事項ニシテ目下各方面ニツキ材料ノ蒐集中ナリ適當ノ時期ニ於テ調査ノ結果ヲ發表スルノ機會アランカ (完)